



株式会社リソー教育
代表取締役社長
(東京都少年サッカー連盟特別顧問)

天坊 真彦

東京都選抜少年サッカー大会に出場する選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、「TOMAS CUP」という形でこの大会を応援しています。今年で40回目となる長い歴史を持つこの大会は、後に海外のプロリーグやJリーグで活躍することになる選手が小学生のときに出場したこともある伝統ある大会です。そのような大会を私たちがサポートして今年で20回目になりました。こうして長年にわたってサポートできることは、私たちにとっても大変誇らしく、今後もできる限り応援していきたいと考えています。

今年度の日本サッカー界では、U23日本男子サッカー代表が2024年アジアカップで見事に優勝し、その力強いプレーは多くのファンに感動を与えました。さらに、日本女子サッカー代表もワールドカップでベスト8に進出し、その技術と戦術で世界を魅了しました。そして、パリ五輪が目前に迫る中、男女ともに逞しくアジア予選を戦い、見事出場権を獲得しました。パリでの活躍が期待される若い選手たちも、皆、小学生の頃にはTOMAS CUPをはじめとする様々な大会でたくさん試合をして成長してきました。

日頃から練習に励んでいる皆さんの実力を発揮する場を、様々な方のご協力のもと、こうして開催できることを嬉しく思います。この大会に出場する選手の皆さんは、東京都の各ブロックから選抜された選りすぐりの精鋭たちであると聞いています。これは、皆さんの日頃の努力の賜物であり、また、非常に幸運なことでもあると思います。皆さんは日々のトレーニングを通じて、技術の上達だけでなく、チームワーク・フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・思いやり・友情・感謝の心といった大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんのが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくことを期待しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとって、勉強はもちろん大事ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも大切です。それらを通じて、様々な目標に正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという想いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。さあ、「TOMAS CUP」の開幕です。チームの勝利のために、ゲーム終了のホイッスルが鳴るまであきらめることなく、ゴールを目指し続ける皆さんの熱いプレーを楽しみにしています。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



東京都少年サッカー連盟
委員長

石神 朋治

本年も「TOMAS CUP第40回東京都選抜U-12サッカー大会」をリソー教育グループ様のご協賛により、少年少女の夢の実現のため最高のプログラムを提供できることを心より感謝申し上げます。さらに稻城市・稻城市サッカー連盟の協力により素晴らしい会場をご提供いただき、重ねて感謝申し上げます。

本年、東京には801チームが登録され、今年も約4万人が活動する地域となります。皆さんは所属するブロックを代表する選手となり、将来に向けてさらなる飛躍のきっかけとなる大会であることを期待しています。

日々の練習や緊迫した試合、仲間たちとの友情は、皆さんを成長させ、強く、信頼できる個人へと育てます。その時々に感じる感動と興奮は、将来を豊かに育て上げ、強く、心豊かな大人へと導くでしょう。

サッカーは、単なるスポーツに留まらず、ゲームを通じて多くのことを学び、成長する貴重な経験です。少年サッカーの進歩と更なる育成に焦点を当て、様々な事業を通じて、多くの選手がサッカーの楽しさを体感し、意欲的に積極的にサッカーと関わってくれることを願っています。

今年度も、我々はチームワークとフェアプレーを大切にし、選手たちに最高のサッカー経験を提供します。選手たちへの機会提供、参加者がさらなる成長を遂げることを期待しています。